

三井住友海上火災保険株式会社

広報部 〒101-8011 東京都千代田区神田駿河台 3-9

TEL: 03-3259-3111(代表)

www.ms-ins.com

2021年3月25日

安心・安全なまちづくりの実現に向けた業務提携を締結

MS&ADインシュアランスグループの三井住友海上火災保険株式会社（社長：原 典之）は、株式会社スマートバリュー（社長：渋谷 順、以下「スマートバリュー」）と、社会・地域の安心・安全および都市サービスの利便性向上につながるスマートシティ構想の実現に向けて、両社の強みを活かし、マーケットから必要とされる新しいビジネスモデルの創造やサービスの開発・推進を行うための業務提携を締結しましたので、お知らせします。

三井住友海上は、保険商品・サービスの提供を通じて、スマートバリューによる21世紀の社会システム創造を目指す取組をサポートし、社会課題の解決に貢献していきます。

1. 提携の背景

近年、人口減少やデジタル化の進展等、社会環境が大きく変化している中で、これからのまちづくりでは、地方創生をはじめとする持続可能な社会・地域づくりが必要不可欠となります。

こうした中、自治体および公的機関向けの地域情報クラウドプラットフォームによって社会システムにイノベーションをもたらしているスマートバリューと協業し、さまざまなデータの利活用を通じたサービス開発を進めることで、当社が掲げるレジリエントでサステナブルな社会の実現に貢献できると考え、本提携にいたしました。

2. 提携内容

(1) 人事交流

2021年4月より、スマートバリューとの人事交流を予定しています。

(2) サービス企画・開発

IOTに関するサービス企画・開発について、戦略の立案や実現に向けた定期的な検討会を開催します。

(3) リスクマネジメント

スマートバリューが検討するリスクマネジメントに関する取組の支援を行い、今後のプロジェクトへ積極的に参画します。

3. 主な取組

- ・スマートバリューの有するプラットフォームを活用のうえ、交通安全、ヘルスケア、BCPなど企業が抱えるリスクマネジメント対策を推進し、地域社会の安心・安全に貢献します。
また、スマートバリューは、同社のデータマネジメント基盤「Open-gov Platform（オープンガブプラットフォーム）」等に蓄積されたデータの分析・活用・共有を通じ、防災・減災に資する三井住友海上の保険商品・サービスの検討を支援します。
- ・コロナ禍で加速している企業のデジタルトランスフォーメーション（DX）を支援し、経費削減や業務効率化を実現することで地域経済の活性化を促進します。また、社会課題の解決に不可欠なデジタル技術を各個人の手元に届けるまでの技術を研究・開発し、社会課題の解決や利便性向上を目指します。
- ・Maas（Mobility as a Service）を促進し、社会・地域の課題解決に資する手段を研究・開発していきます。

<ご参考>

■会社概要

会社名	株式会社スマートバリュー
代表者名	取締役兼代表執行役社長 渋谷 順
所在地	大阪市中央区道修町三丁目6番1号 京阪神御堂筋ビル
設立年月	1947年6月
事業内容	クラウドソリューション事業
ホームページ	https://www.smartvalue.ad.jp/

■スマートバリューの2028年に向けた構想について

スマートバリューは、「Moonshot Vision2028」としてスマートシティ・まちづくりのDX化を促進し、21世紀の社会システム創造を目指す取組を行っています。

以 上